

2025年2月5日開催 海外食品容器・包装規制セミナーQ&A

	講師への質問	回答欄
1	今後、日本でもモノマテリアル化は進むとお考えでしょうか？	欧州のような制度構築がされるかによってスピードは影響されると思いますが、輸出対応の側面もありますので進んでいくと考えてます。ケミカルリサイクルにおいてもオレフィン化が有利に働くため、オレフィンモノマテ化は重要かと思っています。
2	今回ご紹介いただきました製品技術は、欧州ではすでに標準でしょうか 違う場合、欧州では日本でフィルム包装しているような商品はどのような包装になっているのでしょうか？	欧州では既に炭素税が導入されている地域があるためモノマテ化が進んでいます。国内のような同一素材を貼り合わせて包材を構成すること、同一素材の中で機能層を組み込んだ共押のシート状の素材に表刷りをして包材とする技術も広がっていると聞いています。
3	TOPPAN様に包装フィルムの検討をした場合には、日本も含め、EUのポジティブリスト制度に関わる適合証明書の発行は対応していただけるのでしょうか。	当社が適合証明を発行するというよりは適合証明をされている素材のみで包材を構成することになります。現状国内サプライヤーからの素材では品種によって適合証明が得られるものが制限されるものもあるため、個別にご相談頂くことになるかと思われます。
4	会場で質問させていただきました通り、紙化によるCO2削減の詳細についてご教授いただけますと幸いです。	個別の回答申し上げた通り紙化自体はCO2削減に貢献できないケースが多いです。紙で強度を持たせるために紙の使用量が大きくなるケースは逆に増大になるケースもあると思います。しかしながらその分は確実に減プラに寄与すること、また紙自体が再生可能な素材となるため環境適合性があると判断し検討されるケースは根強くあります。またTOPPANではSmartLCA-CO2を用いて可視化して、紙化でもCO2増加にならないような構成も提案できる体制を整えています
5	GL-フィルムを使用したモノマテリアルフィルム（PE/GL-PEなど）はEUでも「モノマテリアル」に該当するのでしょうか？また、蒸着フィルムを使用した包材はPPWRのリサイクルグレード評価において、通常の蒸着していないフィルムと比較してグレードの評価に影響はあるのでしょうか？	蒸着層は非常に薄くフィルム素材に対し影響度の低いレベルの重量比になるため今時点では影響はないと考えています。詳細は今後の法整備の中で決定されていくことになると思います。